

平成27年4月21日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

■景況について

15年ぶりに株価が2万円の大台を記録した。円安や原油価格の下落を追い風として、業績が好調な業種で収益押し上げへの期待が高まっている。京都経済を牽引するハイテク関連の製造業においても、輸出企業を中心に大幅な増収や増益を予想しており、大企業を中心とする好業績への期待が株高を後押ししたといえる。また、春の観光シーズンを迎えて、円安の効果もあって多くの外国人観光客が京都を訪れており、観光関連の企業は引き続きプラスの影響を受けている。観光産業は、京都経済の成長を牽引する重要な分野であるが、人手不足や不安定な雇用形態などの課題も指摘されており、雇用の質を高める取り組みが必要である。

株高による景気全体への好影響が期待される一方で、中小企業は、円安による輸入原材料高や人手不足によるコスト増などによって厳しい経営環境が続いている。経済の好循環を実現するためには、大手企業の収益改善と賃上げの流れを中堅・中小企業にまで波及させ、伸び悩む個人消費の回復へとつなげる必要がある。賃上げ余力のある大企業は、適正な価格転嫁や下請け企業に対する取引価格面での配慮、コスト低減につながる支援などにも取り組んでもらいたい。

2年後には、消費税率が引き上げられるが、増税に耐えうる環境をつくるためにも、内需拡大による持続的な成長を早期に実現しなければならない。政府は、日銀との密接な政策連携によってアベノミクスを加速させるとともに、地方創生によって中小企業を中心とする地域経済の活力創造を急いでいただきたい。

京都商工会議所の動き

■京都・観光文化検定試験について

昨年の京都検定は、6年ぶりに7千名を超える申し込みをいただいた。特に、京都市教育委員会から中学生272名に受験をいただいたことは大変意義深い。例年、その年の1級合格者を対象にした「1級合格者のつどい」を開催しているが、今年は4月26日に開催する。京都検定を極めた皆様の交流で、京都の魅力を改めて共有する機会としたい。

今年、12回目となる京都検定は12月13日に実施する。公開テーマは、3級が洛西（嵐山・嵯峨野・乙訓）、2級は今年で400年を迎える「琳派」、1級は「京都三大祭」とした。京都市民・府民をはじめ、企業などの団体受験、全国の京都ファンの方に受験いただき、幅広く奥の深い京都の魅力に触れていただきたい。

■会頭ミッションの派遣について

5月からミラノ万博が始まるが、本所では日本館に於いて6月7日から開催される「京都ウィーク」のオープニングセレモニーに合わせて、イタリアのミラノとフィレンツェ、ポーランドのクラクフを訪問する会頭ミッションを派遣する。会頭ミッションとしては、2012年以来3年ぶりとなる。イタリアでは、ミラノ万博の視察のほか、フィレンツェでは京都市とフィレンツェ市の姉妹都市提携50周年の式典に参加するほか、本所とフィレンツェ商工会議所の友好協定締結10周年にあたり、表敬訪問することになっている。また、高いブランド力を持ったイタリアの中小企業も訪問する予定にしている。ポーランドのクラクフ市は、長い間ポーランド王国の首都として発展した古都だが、世界大戦の戦火を免れた古い市街地を残し、ポーランドの京都とも呼ばれている。旧市街は世界遺産に指定されており、郊外にもアウシュビッツ収容所など、世界遺

産が多く存在する。街の保全やインバウンドの受け入れ状況など、観光産業の面から視察したいと考えている。

記者からの質問事項

■ 昨年の京都検定は申込者が7千人を越えたが、今年目標があれば教えてほしい。

昨年は6年ぶりに7千名を超えるお申込みをいただいた。東京での受験機会の提供や、企業の団体受験の促進などによる成果と受け止めている。受験者数が昨年を上回るよう、少しでも多くの方に受験いただきたいというのが基本的な考え方である。

■ 4月から企業向けの電気料金が値上がりしたが、ビジネス面の影響を教えてください。また、高浜原発の再稼働差し止めの仮処分について、ご意見があれば教えてください。

電気料金の値上がりを受けて、中小企業の経営に大きなマイナス影響が出ることを懸念している。安定的かつ経済的な電力をエネルギーミックスの最適なバランスを取りながら供給してもらいたい。原発の再稼働については、基本的には原子力規制委員会の審査をひとつの基準として、今後の議論を進めていただきたい。

■ 四条通の歩道拡幅の話題が出ているが、四条通の現状についてご意見をお伺いしたい。

歩道拡幅工事に伴う交通渋滞について、この春にかけて一部から不満の声を耳にするようになった。本所でも地元関係者にヒアリングを行っている。京都市は、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を掲げて、ある意味で偉大な実験を行おうとしている。本所としても、京都市のまちづくりの理念を実現するために、問題を解消しながら、関係者と協力していくというのが基本的な姿勢である。ゴールデンウィークを控えて、ますます観光客が増え、観光客や市民の不満が強まることを懸念しているが、京都市では四条通の迂回に向けた広報活動や、市バスの乗降時間の短縮などに取り組むと聞いている。京都市への要望等については、これからの推移をみながら、必要に応じて対応を検討したい。

■ 四条通に面して京都経済センターが計画されているが、現在の進捗状況をお伺いしたい。

現在、関係者との協議を続けているが、取りまとめにはもう少し時間を要すると聞いている。できるだけ早い時期に結論が出せるよう努力していきたい。

以上



第12回京都・観光文化検定試験実施概要

試験日 平成27年 12月13日(日)

試験会場 【京都】 京都市内の大学等 【東京】 東京の大学等

団体申込 申込期間 9月1日(火)～10月30日(金)
 受験料 1級：5,190円／2級：3,460円／3級：2,600円
 ※団体受験料はのべ10名以上で適用、10名未満の場合は一般受験料
 中学校・高等学校の自校開催は3級：1,620円

一般申込 申込期間 9月1日(火)～11月9日(月)
 申込方法 ①インターネット ②コンビニ端末 ③郵送
 受験料 1級：6,480円／2級：4,320円／3級：3,240円

受験資格

- ・学歴・年齢・性別・国籍等の制限はありません
- ・1級試験の受験は、2級合格者に限ります

試験級

1級 京都全般に関する「高度な知識レベル」
 <制限時間> 90分
 <出題> 記述式：語句・穴埋め問題60問以内・小論文5問以内
 <合格> 80%以上の正解をもって合格

2級 京都全般に関する「やや高度な知識レベル」
 <制限時間> 90分
 <出題> 四者択一100問以内
 <合格> 70%以上の正解をもって合格

3級 京都全般に関する「基本的なレベル」
 <制限時間> 90分
 <出題> 四者択一100問以内
 <合格> 70%以上の正解をもって合格

出題範囲 歴史・史跡、神社・寺院、建築、庭園、美術、伝統工芸、伝統文化、花街、祭と行事、京料理、京菓子、ならわし、ことばと伝説、地名、自然、観光
 京都に関すること全般

公開テーマの設定（第10回から設定）

○第12回の公開テーマ

〔3級〕 洛西：嵐山・嵯峨野・乙訓

〔2級〕 琳派

〔1級〕 京都三大祭

○ねらい

- ・京都検定をより楽しく勉強していただくために、事前にテーマの一部を公開することにより、取り組みやすくする。
- ・テキストの範囲から2級は7割以上、3級は9割以上との縛りがあり、テキストに掲載されていない最近の動向や話題のスポットなどについての出題が制限されている。この状況を緩和し、事前に公開したテーマ問題については、この制約からはずすことも検討する。
- ・テーマを絞ることにより、テキスト以外の参考資料を探したり、現場へ出向いたり、積極的な勉強を促進することができる。
- ・エリアテーマの場合、受験者の観光行動に結びつく可能性がある。

【参考】前回まで（第10・11回）のテーマ

<第10回>

1級	「京都と映画」	10問
2級	「洛北：大原・八瀬・比叡山」	10問
3級	「京都“花の名所”」	10問

<第11回>

1級	世界文化遺産「古都京都の文化財」	10問
2級	「京の食文化」	10問
3級	「伏見・宇治」	10問

【京都検定1級合格者のつどい】

日時：平成27年4月26日（日）15：00～20：00

会場：京都国立博物館

内容：15:00～15:40 講演 京都国立博物館館長 佐々木 承平 氏

15:40～16:00 上映 4Kシアター「京都国立博物館の歴史と名品」

16:00～18:00 自由観覧 特別展覧会「桃山時代の狩野派 永徳の後継者たち」

18:15～20:00 交流会

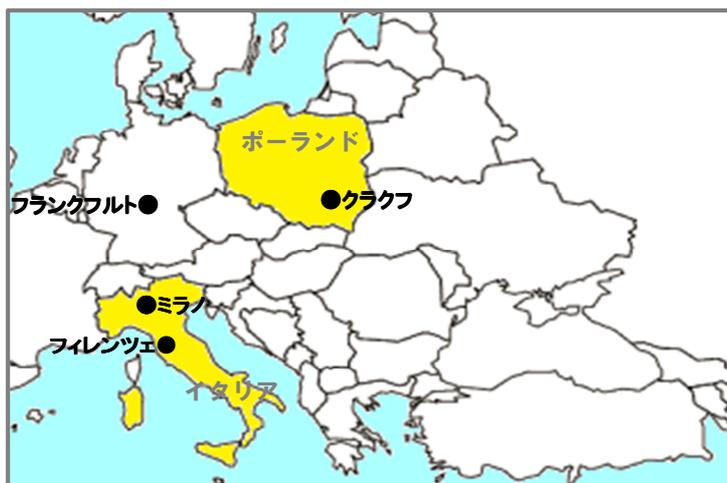


2015年 京都商工会議所会頭ミッション

『ミラノ・フィレンツェ・クラクフ視察団』

京都商工会議所ではこのたび、イタリア・ミラノで「食」をテーマに開催されるミラノ国際博覧会(ミラノ万博)の「京都ウィーク」を視察するとともに、2005年に友好協定を結び、締結10周年を迎えるフィレンツェ商工会議所への表敬訪問、またポーランドの京都といわれる最も歴史ある都市の一つであり、17世紀初頭にワルシャワに遷都するまではポーランド王国の首都であったクラクフを訪問し、現地の状況を視察する会頭ミッションを派遣いたします。

- 訪問国 イタリア(ミラノ、フィレンツェ)、ポーランド(クラクフ)
■渡航期間 2015年6月6日(土)～6月14日(日) 《9日間》



- 参加者 立石 義雄(会頭)
柏原 康夫(副会頭)
福永 晃三(副会頭)
白石 方一(国際交流特別委員会・委員長)
ほか、本所役員・議員・会員など 約30名

- お問合せ先 京都商工会議所 企画室 担当：勝部・日野

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル

TEL：075-212-6432 FAX：075-255-1985

E-mail：kikaku@kyo.or.jp

■訪問国の視察概要について

イタリア

～ミラノ～

イタリア北西部の街・ミラノは、首都ローマに次ぐ商工業や金融の中心地、また観光地としても名高いヨーロッパ有数の世界都市です。ミラノ・コレクションで知られるように、ファッション関連産業が盛んな都市でもあります。

◇ミラノ国際博覧会(ミラノ万博)

「地球に食料を、生命にエネルギーを(Feeding the Planet, Energy for Life)」をテーマに開催されます(会期:5月1日～10月31日)。日本館のテーマは、「Harmonious Diversity ー共存する多様性ー」。日本食や食文化に詰まった知恵・技といった「多様性」は、食料問題など地球規模の課題に貢献する大きな可能性を秘めているという観点から、展示やイベントが行われます。

この日本館において6月7日～11日まで開催される“京都ウィーク”のオープニングセレモニーに合わせて会場を訪れ、日本館および万博会場全体を視察いたします。

◇現地企業視察

京都ブランドの創造につながるような、ミラノの特色を生かしたブランド開発・マーケティングを行っている企業を訪問し、その極意を伺う予定です。

～フィレンツェ～

イタリア中部に位置するフィレンツェは、「花の都」とも呼ばれ、ルネサンスの中心地として知られています。市街中心部は「フィレンツェ歴史地区」として世界遺産に登録されています。

◇フィレンツェ商工会議所

今年友好協定締結10周年を迎えるフィレンツェ商工会議所を表敬訪問します。

◇京都市とフィレンツェの姉妹都市提携50周年記念式典

記念式典の参加と、世界的な音楽祭「フィレンツェ5月音楽祭」に出演する、京都市交響楽団の公演も鑑賞予定です。

◇現地企業視察

1385年から歴史の続く名門ワイナリー「アンティノリ」を訪問予定です。



ポーランド

～クラクフ～

2004年に欧州連合(EU)に加盟後、堅調な経済成長を続け注目を集めるポーランド。2007年の世界金融危機のときにも比較的順調な成長をし、特に欧州が深刻な不況に陥った2009年は唯一プラス成長を達成しました。そのため、今ではポーランド独特の非常にユニークな経済政策が、世界から注目を浴びるようになりました。

クラクフは、ポーランド王国の首都として発展し、1386年から1572年までのヤギェウォ朝の頃に中欧の文化の中心としての栄華を極めました。

1611年にはワルシャワに遷都されましたが、第二次世界大戦の戦災から逃れたこともあり、古い建築物がそのまま残り、1978年には旧市街がユネスコの世界遺産に登録されています。

◇日本政府機関(JETRO)からのプリーフィング

ポーランドの最新経済事業についてレクチャーを受けます。

◇日系進出企業または現地企業視察

◇世界遺産地区の視察



■予定スケジュール

2015年4月21日現在

日次	月日(曜)	発着地/滞在地	時間	交通機関	主なスケジュール
1	6/6 (土)	関西空港発 フランクフルト着 フランクフルト発 ミラノ着	午前 夕刻	航空機 航空機 専用バス	空路、フランクフルト経由ミラノへ 着後、ホテルへ (ミラノ泊)
2	6/7 (日)	ミラノ滞在	終日	専用バス	●ミラノ万博視察 (京都ウィークオープニングセレモニー出席など) 自由行動 (ミラノ泊)
3	6/8 (月)	ミラノ発 フィレンツェ着	午前 午後 夕刻	専用バス	●ミラノにて現地企業など視察 昼食後、フィレンツェへ移動 (フィレンツェ泊)
4	6/9 (火)	フィレンツェ滞在	午前 11:00 午後 夜	専用バス	●フィレンツェ商工会議所 表敬訪問 ●京都・フィレンツェ姉妹都市 50周年記念式典に 参加 ●ワイナリー「アンティノ」の視察 ●「フィレンツェ 5月音楽祭」京都市交響楽団の公 演を鑑賞 (フィレンツェ泊)
5	6/10 (水)	フィレンツェ発 フランクフルト着 フランクフルト発 クラクフ着	夕刻 深夜	航空機 航空機 専用バス	出発まで自由行動 空路、フランクフルト経由クラクフへ 着後ホテルへ (クラクフ泊)
6	6/11 (木)	クラクフ滞在	午前 午後 夕刻	専用バス	●企業・経済関係機関など視察・レクチャー ■クラクフ市内世界遺産視察 ●会頭主催のディナー会設定 (クラクフ泊)
7	6/12 (金)	クラクフ滞在	終日		自由行動 <オプションツアーの設定あり> ◎アウシュビッツとビルケナウ(世界遺産) ◎ヴィエリチカ岩塩採掘場(世界遺産) など (クラクフ泊)
8	6/13 (土)	クラクフ発 フランクフルト着 フランクフルト発	朝 午前 午後	専用バス 航空機 航空機	空港へ移動 空路、フランクフルト経由帰国の途へ (機内泊)
9	6/14 (日)	関西空港着	早朝		到着後、解散